

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉演習Ⅲ (2単位)		3. 科目番号	PSMP4470
2. 授業担当教員	小金澤 嘉 / 三野 宏治			
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期/秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>精神保健福祉演習Ⅲは、ソーシャルワーク演習Ⅰにおいて、「ソーシャルワークの基礎」「ソーシャルワークの展開」を学んだ後に位置づけられる科目で、精神保健福祉演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲと連続して学習するよう構成されている。これらの演習の主な学習方法は、グループ討議、文献調査、社会調査、情報収集、面接技法、ロールプレイ、モデリング等の多様な方法を用いて社会福祉実践の知識と技能を具体的に学習することを目的としている。</p> <p>精神保健福祉演習Ⅲでは、精神保健福祉援助の事例(集団に関する事例を含む。)を活用し、社会的排除や社会的孤立、退院支援や地域移行支援、地域生活支援、加えて自殺対策やひきこもり支援といった社会的課題へのアプローチについて実践的に学習するとともに、そのような支援を展開するために求められる職業倫理や職責、専門性の特質について考察を深める。</p>			
8. 学習目標	<p>精神保健福祉演習Ⅲが終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <p>①精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去した共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできるようになる。</p> <p>②精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できる。</p>			
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>課題1：精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人への差別や偏見について、現在の日本社会の状況を踏まえ論じる。</p> <p>課題2：政策・制度への働きかけと関係行政や地域住民への働きかけについて論じる。</p> <p>課題3：精神保健福祉専門職としての行動の基盤と職業アイデンティティについて論じる。</p> <p>各課題について、A4用紙2枚にまとめること。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク学校教育連携編集『精神保健福祉士養成講座 ソーシャルワーク演習(精神保健福祉専門)』中央法規出版</p> <p>【参考書】 「はじめてのソーシャルワーク演習」編集委員会編『はじめてのソーシャルワーク演習』ミネルヴァ書房、2020.2</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>①精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去した共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできるようになる。</p> <p>②精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解できたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 演習への取り組み 60%</p> <p>2. レポート課題1～3 40%</p> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。</li> <li>自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。</li> <li>欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。</li> <li>明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意すること。</li> <li>授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。</li> </ol> <p>教員は以下のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</li> <li>受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。</li> <li>一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加(発言、発表等)できるよう双方向対話型の学習環境を作る。</li> <li>遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。</li> </ol>			
13. オフィスアワー	担当教員より初回の演習時に提示する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 精神保健福祉演習Ⅱの振り返り	事前学習	シラバスを確認し、精神保健福祉演習Ⅲの学習内容について理解する。	
		事後学習	精神保健福祉演習Ⅱでの学習を踏まえ、精神保	

			健福祉演習Ⅲの自己の学習目標を明確にする。
第2回	社会的排除・社会的孤立に関する事例①：社会的排除・社会的孤立が存在する社会状況についての考察	事前学習	提示された事例を読み、不明な語句について調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第3回	社会的排除・社会的孤立に関する事例②：共生社会を実現するための活動（政策・制度への働きかけ、地域住民への働きかけ）の検討	事前学習	社会的排除・社会的孤立に関する社会的背景を調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第4回	退院支援・地域移行支援・地域生活支援の事例：退院支援から、地域生活支援までの流れの実践	事前学習	提示された事例を読み、不明な語句について調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第5回	ひきこもり支援の事例①：ひきこもりに関する社会状況についての考察	事前学習	ひきこもりに関する社会状況について調べる。 提示された事例を読み、不明な語句について調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第6回	ひきこもり支援の事例②：支援の展開、政策・制度への働きかけの検討	事前学習	ひきこもりへの支援について調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第7回	家族支援に関する事例①：家族の現状及び家族支援に関する社会状況についての考察	事前学習	提示された事例を読み、不明な語句について調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第8回	家族支援に関する事例②：家族を含めた支援の展開、政策・制度への働きかけの検討	事前学習	家族支援の実態について調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第9回	災害被災者支援に関する事例①：災害支援における精神保健福祉士の役割についての考察	事前学習	提示された事例を読み、不明な語句について調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第10回	災害被災者支援に関する事例②：災害支援における支援の展開の実践	事前学習	災害被災者支援の状況を調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第11回	医療観察法に関する事例①：犯罪被害者支援、触法精神障害者支援についての理解と啓発活動を含めた地域住民への働きかけの検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な語句について調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第12回	医療観察法に関する事例②：犯罪被害者支援、触法精神障害者支援での精神保健福祉士の役割、支援の検討	事前学習	犯罪被害者支援、触法精神障害者支援の実態を調べる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第13回	精神保健福祉士として行動するための基盤の検討	事前学習	今までの授業で学んだことをもとに、精神保健福祉士としての基盤とは何か考える。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第14回	精神保健福祉士としての職業アイデンティティについての検討	事前学習	今までの授業を振り返り精神保健福祉士の役割をまとめる。
		事後学習	授業での学びと振り返りをまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	授業を通して学んだことを振り返る。
		事後学習	課題3の実施。